

広報うるま特別号

うるま市の「今」を知る



1. 子育て p2-5



2. 雇用促進・就業支援 p6-9



3. うるマルシェ p10-11



4. 勝連城跡周辺整備 p12-13



子育て

うるま市の子育て環境

うるま市に生まれてきた子どもたちが、健やかに成長するために、私たちは子育てする環境を整えることが大切と考えております。これまで子育て支援に関する施策を実施、展開しておりますが、支援体制のさらなる拡充に向け、子育てを妊娠期からサポートする仕組みとして、子育て世代の包括支援センターを平成30年10月に開設しました。

また、こども医療費助成の対象を平成29年度から中学卒業までとする年齢拡充を行い、平成30年10月からは、未就学児の窓口無料化を開始するなど、安心して子育てができるまちづくりを進めていきます。

これからはじまる、
あなたとのしあわせ



保育士不足 解消します



国や県の制度を活用した家賃補助事業等のほか、合同求人説明会及び保育園見学ツアーの開催や市独自の潜在保育士向けの補助事業を実施し、安定的な確保に努めていきます。



保育士への宿舍借上援助 (保育士宿舍借上支援事業)

保育士の住むアパート等を保育園が借り上げることで、保育士の家賃負担を軽減または無償化します。平成30年度・31年度の新規採用保育士には、法人負担分を補助する市独自事業を行います。これまで、8保育園において、11名の方が利用しています。



保育士資格取得の支援 (保育士試験受験者支援事業)

市内の認可保育園・認可外保育園に従事し、または従事予定の方を対象に、保育士試験対策講座を開催することにより、保育士資格取得を支援して保育士の新規確保を図ります。これまで、3年間で14名の方が保育士資格を取得しています。



潜在保育士への復職支援 (保育士再就職促進助成事業)

保育士資格を有するが、保育士として勤務していない方の再就職支援として、就職準備費用及び再就職後の経済支援として最大10万円を助成して保育人材の確保を図ります。これまで、7名の方へ助成しています。

保育所定員 増やします

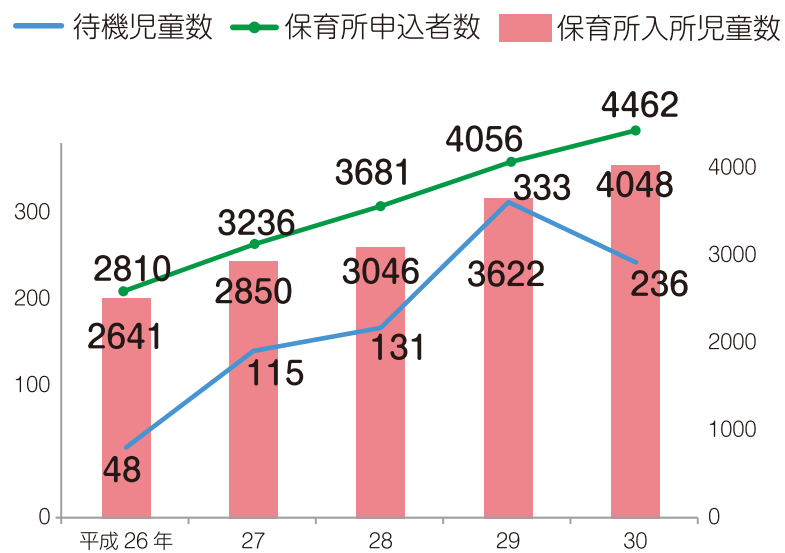


子育てしやすい社会を目指し、国や地域をあげて、子どもや家庭を支援する新しい支え合いの仕組みづくりを行う「子ども子育て支援新制度」が平成27年4月にスタートしました。

うるま市では、新制度への対応と子育て期の保護者の方への更なるサービス向上のため、平成28年4月に『こども部』を創設し、子どもに関する業務を一元化しました。また、待機児童を解消すべく、平成29年4月には、待機児童対策班を設置し更なる機能強化を図り、保育所等の施設整備を推し進めています。

国の方策として、2019年10月より3〜5歳児の幼児教育・保育の無償化が閣議決定されています。本市としても、2020年4月から幼稚園、保育所、認定こども園などの設置により、教育・保育の場の確保に向けてあらゆる施策を推進していきます。

うるま市の保育所申込者数・ 入所児童数と待機児童数の推移



【保育所入所児童数について】

平成27年度から平成29年度までの3年間で29保育施設を整備し、保育所定員数は、1136人の増となりました。また、入所児童数は過去5年間で、1407人の増となっており、今後、さらに平成31年4月に向けて、790人程度の増員を予定しています。

【待機児童数について】

平成26年の48人から平成30年には236人と増加していますが、主な要因としては、「子ども子育て支援新制度」のスタートにともない、保育所申込者数が増えていることが考えられます。



「ゆめ」を育てる基金ってなに？

『うるま市こどもゆめ基金』とは？

安心して子どもを生み育てる環境づくりのため、また、次世代を担う子どもたちへのさらなる支援を図るため、平成22年に創設されたうるま市の基金です。

子どもたちにとって「ゆめのある」「ゆめのもてる」基金となるよう、子育て支援策の充実に活用されています。

『こどもゆめ基金』を活用した主な取り組み

これまで、保育施設や学童施設の創設等、施設整備に関連する事業に活用し、また保育施設の整備と保育士確保のための事業を重層的に実施することで、待機児童の解消を図ってきました。認可外保育施設については、平成24年度から教材費と行事費の助成を継続して実施しています。

平成30年度からは新たに創設した「放課後児童クラブひとり親支援事業」にも基金を活用しております。こども医療費助成については、継続的に安定して運用できるよう、その仕組みをこどもゆめ基金が担い、子どもたちの健康で健やかな成長を支えています。

うるま市子育て世代包括支援センター

愛称“だいすき”

健やかに安心して妊娠・出産・子育てをしていただけるよう、妊娠期から乳幼児期にわたるまで切れ目なくサポートする『うるま市子育て世代包括支援センター“だいすき”』を10月に開設しました。

『うるま市子育て世代包括支援センター“だいすき”』って何するところ？

- 親子健康手帳交付時に妊娠・出産・乳幼児に関する疑問や質問、相談などに応じます。
- 妊娠中・出産後のからだのこと、母乳のこと、子どもの発達など専門的な相談にも対応します。
- ひとりひとりの状況に応じた「すこやかマタニティプラン」等を作成し、妊娠中から産後まで、必要なコーディネートします。

- ❖初めての妊娠・出産でよく分からない・・・
- ❖なんとなく気分が落ち込む・・・
- ❖赤ちゃんの体重が増えているか心配・・・
- ❖妊娠中や産後ってどんな食事をとったらいいの？

お気軽にご相談ください。

うるま市子育て世代包括支援センター うるま市役所 こども健康課内 ☎923-7602

子育て支援をする施設ってどんなもの？

施設	施設概要	対象年齢	利用制限
幼稚園	小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行う学校	3歳～5歳	利用制限なし
認定こども園	幼稚園と保育所の機能や特徴をあわせ持ち地域の子育て支援も行う施設	3歳～5歳	制限なし
		0歳～5歳	保育の必要な事由のある人
認可保育園	就労などにより保育が必要な保護者に代わり保育をする、県により認可された施設。	0歳～5歳	保育の必要な事由のある人
地域型保育事業所(小規模・事業所内等)	少人数（原則19人以下）の単位で、0～2歳の子どもを保育する施設	0歳～2歳	保育の必要な事由のある人
放課後児童クラブ(学童)	保護者が昼間家庭にいない児童が放課後に過ごすことができる施設	小学生	保護者の就労等一定の条件が必要
児童館	健全な遊びを提供し、子どもの心身の健康増進や情操を豊かにすることを目的とする施設	0歳～18歳	なし
地域子育て支援センター	地域の身近なところで、気軽に親子の交流や子育て相談ができる場所	0歳～5歳	なし
ファミリーサポートセンター	子育ての援助を受けたい方と援助を行いたい方が会員登録して、相互援助を行う事業	0歳～小学生	なし
認可外保育園	保育を行うことを目的とする施設で、認可保育所以外のものを総称した施設	施設により異なる	施設により異なる

子どもの夢を大きく育てる

すべての子どもたちが、生まれ育った環境に左右されことなく、夢と希望を持って活躍できる社会の実現に向けて様々な取り組みを行っています。

こども食堂

『こども食堂』とは、地域の子どもに対して、無料で食事を提供する取り組みで、市内全ての6児童館（みどり町児童センター・なかきす児童センター・いしかわ児童館・屋慶名児童館・宮城児童館・きむたかこどもセンター）で開設しています。

うるま市学習支援事業

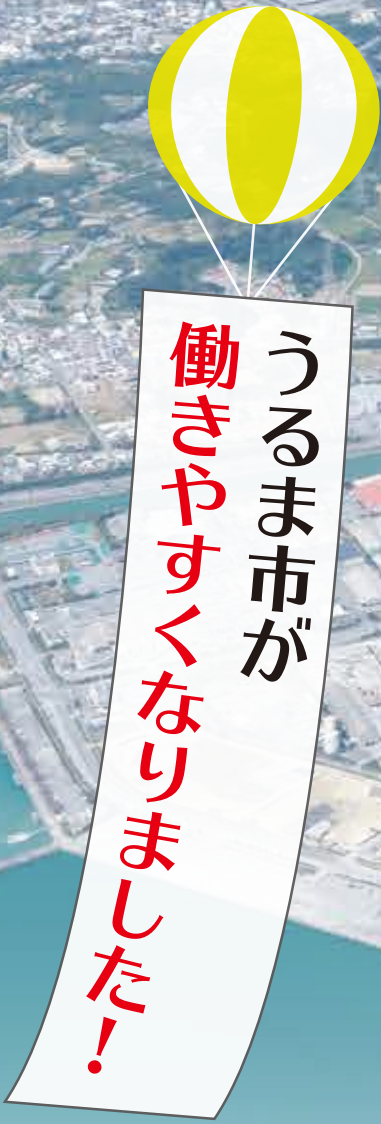
市内の経済的に困りの世帯（非課税世帯）のお子さんを対象に高校進学を希望する中学3年生に対し、通塾の費用を公費で負担し、学習支援、基礎学力の習得および学習意欲の向上を図ります。

リユース・リサイクル事業

使わなくなった制服や学用品を、必要な人に譲り再利用してもらう取り組みであり、現在、市内の18小中学校で実施しています。市PTA連合会の協力を得ながら平成29年から取り組んでいます。

就学援助制度

経済的に困りのお家族に対して、学用品費等の一部を援助する就学援助制度を実施しています。（新入学品費、給食費、修学旅行費等）



飛躍的に改善されたうるま市の完全失業率

雇用促進・就業支援

完全失業率 **18.2%** (平成22年国勢調査) **改善!** **7.5%** (平成27年国勢調査)

若年者失業率 (15~24才) **30.2%** (平成22年国勢調査) **改善!** **13.7%** (平成27年国勢調査)

若者の夢ひろがる中城湾港 新港地区の働く場

立地企業数 **126社** (平成22年度) **UP!** **238社** (平成30年度・5月1日時点)

雇用者数 **2,847人** (平成22年度) **UP!** **6,147人** (平成30年度・5月1日時点)

うるま市の雇用改善に向けた取り組み
うるま市の中城湾港新港地区においては、製造業や情報通信関連の企業を中心に230社余の企業の進出が進み、6,100人を上回る雇用が創出されています。また、近年は中城湾港新港地区近くの県道33号線沿いなどに次々と大型商業施設がオープンし、市民の働く場が多く生み出されています。それに伴い、本市の完全失業率は、平成22年の国勢調査の18.2%から、平成27年調査では7.5%と大幅に改善され、一人あたりの市民所得も4年連続で増加し、市の税収も年々増加しています。
また、現在は、県内の景気拡大に伴い、有効求人倍率が上昇し人手不足の状況となっており、特に新規立地企業に関しては、人材確保に苦慮している状況が見られます。
市では引き続き、企業の誘致を積極的に行い、市内での働く場所を増やしていくとともに、将来のうるま市の担い手となる児童生徒のキャリア教育等の充実を図っていきます。

企業立地

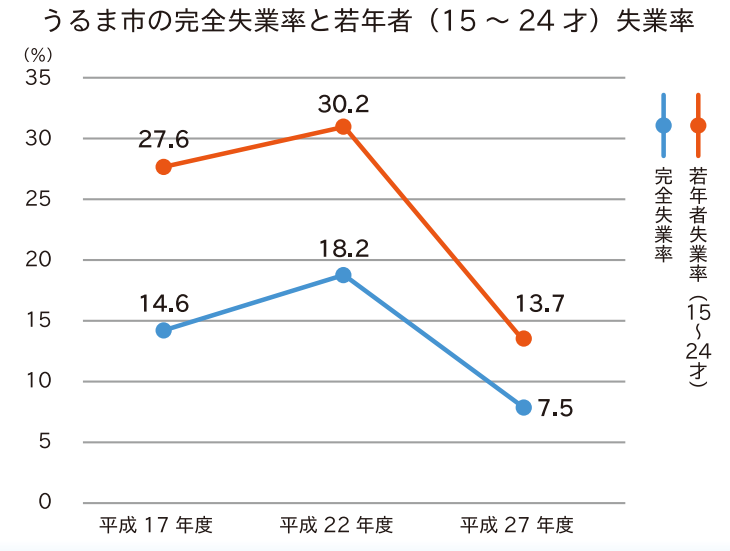
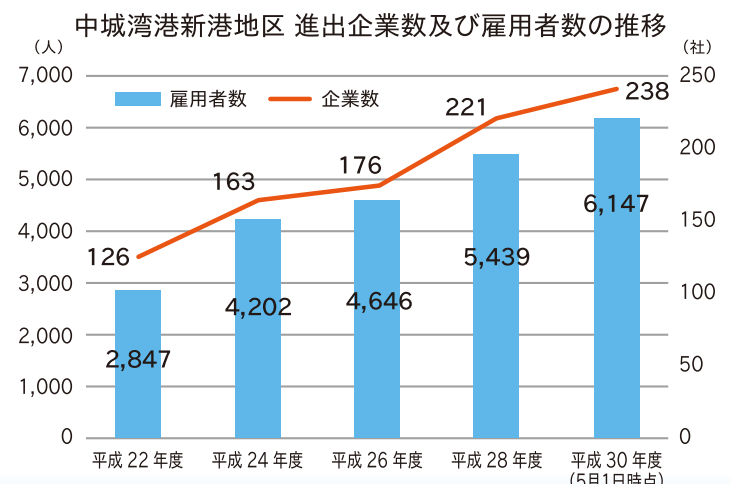
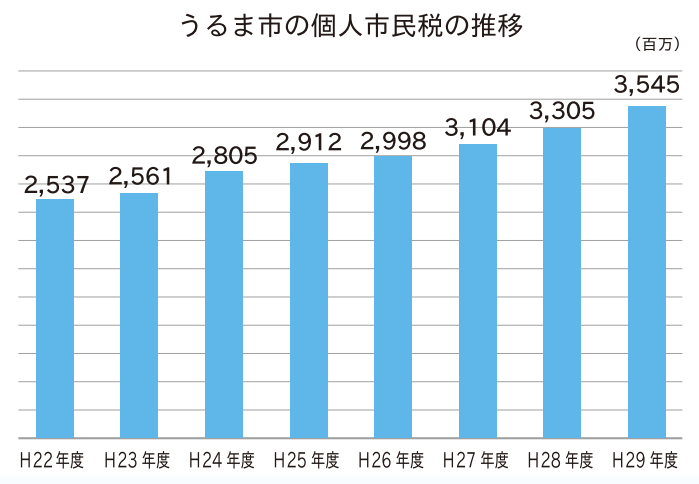
取組みと成果

うるま市では、「企業立地」と「雇用促進」を重点的に取り組むため、平成22年度に「企業立地雇用推進課」を設置し、製造業や情報通信関連企業の誘致に取り組んできました。
また、県外への企業誘致推進員の配置や、企業の人材確保と育成のための専門技術者の育成研修等に取り組んできました。
このような取組みにより、中城湾港新港地区を中心に多くの企業が立地してきており、また、市内立地企業数の増加に伴い、法人市民税を含む市民税の税収も年々増加しています。
商工業関連では、サンエー石川シティー（仮称）やマックスバリュ屋敷店（仮称）等の大型商業施設の立地が進み、各地域での雇用の場の拡大が期待されます。

雇用促進

取組みと成果

うるま市では、雇用促進の取組みとして、企業が求める人材の育成のための様々な研修開催や、学生や求職者に対するきめ細かな就職相談を行うとともに、市役所庁舎内に「うるま市ふるさとハローワーク」を設置するなど、失業率の改善に取り組んできました。
このような取り組みを行うことで、平成21年度から累計で12,306人の新規雇用者を生み出しています。一方で依然、失業率の高い若者向けの就労支援として、新たに、資格取得に係る費用を全額給付する事業などに取り組んでいます。





あなたは将来 何するの？ ～将来を考えるきっかけづくり～

◇うるま市ジョブシャドウイング（対象：小学生）

市内の小学6年生を対象に働く大人に寄り添い、その働く姿勢から仕事の楽しさを経験することで、社会の仕組みを理解し将来の夢や進路を考えるきっかけづくりのお手伝いをしています。

◇職場体験へ向けた事前学習（対象：中学生）

生徒たちの将来に役立つよう、あいさつ時の姿勢と発声のポイント、名刺交換の方法などの社会人としての基本的なマナーの学習を行います。また、社会人講話を通して、実際に働く大人の話聞くことで、様々な職業を知るきっかけづくりを目指しています。

◇次世代リーダー養成塾

日本経済団体連合会主催の「日本の次世代リーダー養成塾」へうるま市在住の高校生2名を派遣します。（※参加費用の半額を市が負担しています。）

一流企業の代表者や大学教授による講義、グループディスカッションなどにより、リーダーとして必要な多面的な思考力や決断力などを養うことができます。

また、平成30年8月に開催された同養成塾には、マレーシアのマハティール首相が講師として参加し、93歳と10代の参加者たちが未来のあるべき姿を問答しました。



うるま市の就職支援・人材育成

国内最先端の企業が集積

◇企業誘致で働く場所を創り出す

中城湾港新港地区へ、「半導体・電子部品」関連企業や「先端医療・バイオ」関連企業など、他社が真似できないような技術やノウハウを活用した高付加価値製品等を製造する企業を中心に誘致していきます。

また、現在、中城湾港新港地区内にある沖縄 IT 津梁パーク内において、新たに企業入居施設の建設が進んでいることから（2019年4月完成予定）、市民の就業支援を進め、IT関連の雇用拡大を目指します。



製造業・IT等

大型物流センター操業間近！！

◇ヒトとモノが集まる物流の拠点へ

中城湾港新港地区は東ふ頭の一部供用開始に伴い、物流拠点としての重要性が増してきており、2019年1月より大型物流センターが操業する予定となっています。

また、中城湾港新港地区を拠点とした新たな物流モデルを構築し、物流関係企業を誘致することで、雇用の増加と経済波及効果による市民所得の向上に取り組めます。



物流の拠点・東ふ頭

大型クルーズ船



魅力ある観光都市を目指す

◇うるま市の商業・観光業に活力

中城湾港新港地区に入港するクルーズ船観光客に対して、「うるマルシェ（農水産物直売所等施設）」を中心とした県道33号線沿の商業施設への周遊を促すことで、商業施設の活性化を図り、新たな商業施設の進出を支援することで、雇用の拡大が期待されます。

また、観光分野においては、勝連城跡周辺地域から海中道路、島しょ地域への誘導を図りながら、経済波及効果の高い宿泊施設（ホテル）等の誘致についても取り組んでいきます。

01

働く場所を増やします
新たな雇用を生み出す

うるま市が誇る先端企業



沖縄東京計装株式会社

南国の心を込めた製品に世界の扉がひらきます

沖縄（うるま市）から「"はかる技術"で地球の未来に貢献」を合言葉に、半導体製造プロセスにおける流量計測・制御を通じて様々な産業の基盤を支え、世界の人々の生活を笑顔にあふれた豊かなものとするお手伝いをしています。

当社で働く社員は常に、「沖縄から世界に通用する製品を安定的に供給する」という熱い思いを胸に、高品質・高精度・高効率なモノづくりに邁進しています。



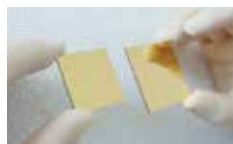
株式会社アクロラド

高い技術力で、医療現場、宇宙産業に寄与する

X線等の放射線を計測するためのCdTe半導体検出器の研究開発メーカーです。最先端のX線検出技術を扱うメーカーは世界で数社しかなく、日本では唯一。

世界で製造されている歯科用X線パノラマ装置の約3割に同社の検出器が採用されています。

また、2016年に打ち上げられたX線天文衛星にも、同社の部品が搭載されるなど、同社の高い技術力が様々な分野に活かされています。



半導体放射線検出器

株式会社 ディノス・セシール コミュニケーションズ

ココロとココロつながる

『お客様が幸せな気分になれるサービスを常に提供できるコールセンター』を企業理念として、主に、カタログ通信のお客様からのご注文やお問い合わせのお電話に対応する仕事をしています。

企業内託児所や学童クラブの運営、無料エステ、送迎バスの運行など、より働きやすい職場環境づくりに努めています。



(株)バイオマス再資源化センター

建設廃材等から電気をつくる！！

これまで、焼却処分されていた建設用廃材等から石炭の代替燃料となる木質ペレットを製造しています。年間約20,000 t以上を製造し、その量は日本一。木質ペレットは火力発電所にて石炭と一緒に燃やされ、電気をつくる原料となります。

循環型社会形成の推進に大きく寄与したとして平成29年に環境大臣表彰を受賞しました。



木質系ペレット

あなたの就活、大丈夫？ ～働きたい人と企業との出会いの場～

◇街角コンタクトセンター 就活サポート『であえ～る』

就活サポート『であえ～る』では、求人情報の提供をはじめ、履歴書の添削、模擬面接など就職に至るまでの支援や、社会人として必要なスキルアップのためパソコン講座など、就職に関連する様々なサービスをワンストップで行っています。

◇企業開拓員

平成30年度より企業の人出不足を解消するため、企業開拓員を配置しています。

企業開拓員は、企業を訪問し企業が求めている人材などを把握し、求人票の作成支援などを行い市内求職者や企業に必要な人材の確保に努めています。

Interview



ディサービス・ちいばっぱ
おやどまり
介護職 親泊さん

『であえ～る』さんのきめ細かな対応に感謝！

昔から人と“ゆんたく”しながら直接、人と触れ合える仕事、お年寄りのためになる仕事がしたいとの思いがあり『であえ～る』を訪れました。

『であえ～る』では、履歴書の書き方指導やパソコン研修などがあり、大変助かりました。おかげで、希望する職場に入ることができました。

私は、「レクリエーション・インストラクター」の資格を持っているので、利用者の介護予防のための様々なレクリエーションを企画していこうと思っています。



就活サポート「であえ～る」

うるマルシェ

うるま市の農水産業

うるま市は、農作物を安定的に供給できる産地として沖縄県が認定する「拠点産地」に、県内最多の10品目が認定されています。また、もすくの生産量日本一を誇り、全国的にも知られているなど農水産業が盛んなまちです。

うるま市の多彩な農水産物の魅力を『うるまブランド』として高め、消費者の購買意欲を促し、生産者の所得向上などに繋げていくことが求められています。

『うるマルシェ』は、農水産物直売所や飲食施設等の複合機能を運動させ、本市生産品のブランド化による販路の拡大や地産地消など推進し、生産量の拡大や担い手の確保・育成など、うるま市の農水産業の持続・発展的な振興に寄与されることが期待されています。

安心・安全・新鮮な野菜を
皆さまへお届けします！

兼城 義信さん
(勝連南風原在住)

2018年11月1日(木)
OPEN

うるマルシェ
Urumarché

うるま市の
美味しいものを
集めています!!

おいしくゴーヤです。
たくさん食べてください！

いはだいし
伊波 大志さん
(石川曙在住)

うるマルシェ

Um うるマルシェ
Urumarché

買う

うるま市を中心とした、農家さんたちからの新鮮な野菜や、近海で獲れた魚が並びます。

作る

うるマルシェには、調理室があり、料理教室や食について知識を深める講座が開催されます。

食べる

うるマルシェで販売されている新鮮素材を使ったレストランが併設されています。

借りる

会議室や調理室を利用することができます。講座を開いたり研修を行うことができます。

集う

地産品朝市など様々なイベントを開催し、賑わいの場、憩いの場を提供します。

うるマルシェ（愛称）とは？

「うるま市」と「マルシェ」
(フランス語で市場の意味)

をミックスした愛称です。

うるま市の市場として、親しみやすく、うるま市内外、老若男女から愛される市場になってほしいとの思いが込められています。

うるマルシェの
役割とは？

生産者の元気

- ◆ やりがいと魅力ある農水産業
- ◆ 担い手の増加
- ◆ 所得の向上

産業の元気

- ◆ 産業間連携による新商品の開発
- ◆ 販売ルートの拡大
- ◆ 企業誘致・雇用の増加

経済の元気

- ◆ 新しい流通拠点
- ◆ 新しい流通ルートの開発
- ◆ 市内純生産額の向上

地域の元気

- ◆ 農水産業の観光化
- ◆ うるま市観光の拠点化
- ◆ うるま市ブランド力成長

『うるマルシェ』は、農水産物直売所や産直レストラン、フードコートやイベント広場などを備えたうるま市初の公設・民営による複合型施設です。うるま市で生産された美味しい食材の販売窓口として、地産地消の促進や地産品を使った新たな商品開発などを通して、うるま市の農水産物の魅力をPRし、地産品の市外への流通拡大をサポートします。

“食”を通じて様々な相乗効果を生み出し、農水産業に限らず、うるま市全体を活性化させる施設として動き出します。



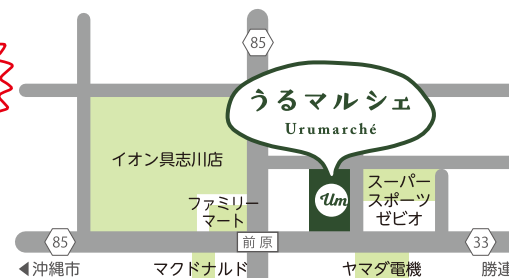
みんなで
行こうよ!! うるマルシェ

駐車場
232台
完備

直売所 8:30~19:00
レストラン 11:00~22:00
フードコート
「うるまテラス」 10:00~19:00

交通アクセス

バス 「ジャスコ具志川入口」バス停下車
徒歩約5分(東陽バス30系統)



〒904-2235 うるま市字前原 183 番地 2

勝連城跡 周辺整備

勝連にたたずむ悠久の城跡

うるま市の東海岸から太平洋に突き出す勝連半島の丘の上にたたずむ『勝連城跡』。
2000年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録され、毎年、多くの観光客が訪れる、県内でも有数の観光スポットとなっています。
海外との交易により勝連に繁栄をもたらした、勝連城跡最後の按司（城主）である阿麻和利の歴史は今も語り継がれています。
うるま市では、観光・歴史文化など多くの可能性を秘めた勝連城跡の利活用を進め、文化と観光の振興を図り、地域の活性化を促進することを目的に「勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業」に取り組み、2021年度より段階的に施設をオープンさせます。
勝連城跡の魅力さをさらに高め、沖縄本島東海岸における新たな観光拠点を目指します。

「まだ知らない 肝高に 出会う」

楽しい施設あれこれ

ショップ・レストラン



うるま市でとれた特産品を使った料理を食べたり、お土産を買うことができます。ここにしかないものもあるかもね。

イベント空間



地域のイベントだけでなく、県外・海外からの集客が見込まれる多様なイベントを開催します。

企画展示室

常設展示では紹介できない情報、世界遺産・勝連城跡や琉球中世史、勝連城跡に関する写真、絵画など、好奇心をくすぐられる企画展を開催します。

常設展示室

文化財、写真、映像などを展示して、勝連城跡について楽しみながら学ぶことができる空間をつくります。勝連城跡への理解を深めるとともに、登城前のわくわく感を高めます。

感じる

勝連城跡からの出土品などが展示された施設や、阿麻和利の物語をモチーフとしたエンターテインメント性の高いイベントなどをととして、世界遺産勝連城跡の歴史・文化について、学び・感じることができます。

楽しむ

世界遺産である勝連城跡を、うるま市を代表する観光拠点として整備・活用する必要があります。勝連城跡で開催されるイベントや祭りなどを通して、地域の活性化を生み出します。また、地域住民が歴史ガイドなどとして参加することで、来訪者との交流の場が生まれる新たな観光モデルを創っていきます。

生み出す

ライブシアター

阿麻和利の物語を躍動感ある演技で伝えるパフォーマンスガイドを配置することで、全国初となる臨場感あふれる体験型ガイダンスを行います。

世界遺産

勝連城跡

勝連城跡最後の按司：阿麻和利とは？



阿麻和利は、当時、悪政に苦しんでいた民衆と相談し、当時の按司（城主）・茂知附を倒し、按司となり、活発な交易により勝連地域にかつてない繁栄をもたらします。阿麻和利の勢力に脅威を感じた琉球国王は、重臣・護佐丸を中城城に住ませ、阿麻和利をけん制するとともに、娘の「百度踏揚」を嫁がせました。

天下統一を目指した阿麻和利は、護佐丸を倒し、琉球王府打倒へと動き出しましたが、大城賢雄率いる王府軍の反撃にあい滅ぼされてしまいました。

多くの歴史書では、阿麻和利は琉球王府に歯向かった悪者として扱われていますが、その後の研究によって名君であったと称えられていたことがわかっています。

また、王府が編纂した歌集「おもろさうし」のなかでは、阿麻和利のことが肝高（気高い）と表現されています。



うるま市消防団員募集

災害から地域を守る!!

地域における消防防災のリーダーとして、地域の安心と安全を守るのが消防団の役割です。

地域の絆で『ひと』と『まち』を守る消防団は
あなたの力を必要としています。



自分の地域は
自分で守らなきゃ!
なかまつ かずみ
仲松 和美(字江洲)

自分の地域を
守るために消防団に
入りませんか?
いげほ まこ
池保 真子(字江洲)



救命に関する色々な
ことが学べます!
おおうちひろこ
大浦 弘子(上平良川)



【問】消防本部 警防課 警防救助係 ☎975-2006 詳しくはwebで [うるま市消防団 募集](#) 検索



安全で 住み良いまちを 作りませんか! あなたの力が必要です!

防災活動

高齢者・子育て活動

防犯活動

防犯灯設置・管理

環境美化活動

レクリエーション活動

自治会への加入などに関する
お問い合わせは
お住いの自治会(公民館)まで

市内 63 自治会の場所や連絡
先、各自治会の行事や活動
状況などの情報はコチラ→

民生委員・児童委員 募集

地域の身近な相談相手

住民からの相談対応や、高齢者・障がい者・子育て
世帯の訪問や見守りなど、住民の幸せづくりのお
手伝いをします。

詳しくはwebで [うるま市民生委員・児童委員 募集](#) 検索



【問】福祉部 福祉総務課 ☎989-0203

ちゃーすが!! うるまんちゅ

約5人に1人が65歳未満で亡くなっている!
全死亡者 1,102 名のうち 30代:17名 40代:29名 50代:80名 (平成29年度)

死因の5割は生活習慣病が原因!
1位 がん 2位 心疾患 3位 脳血管疾患 (平成 28 年度)

早期発見!!重症化予防!!
健診(検診)を受けて、長寿のまちを目指そう!

お問い合わせ先: 健康支援課 ☎973-3209



ずう／＼と
うるまが好き♡



笑顔いっぱい 輝宝保育園の園児たち

あなたの住んでいるうるま市の『今』を知る

うるま市は「市民協働によるまちづくり」をスローガンに掲げ、市民と行政がお互いに手を取り合い、市民の皆様が「住みたい、住み続けたい、住んで良かった」と思えるまちづくりを目指して、様々な取り組みを進めています。

今回は、市民の皆様にはうるま市の取り組みを知ってもらうため「広報うるま特別号」を発刊しました。数ある施策の中から、「子育て」・「雇用促進・就業支援」・「うるマルシェ」・「勝連城跡周辺整備」の4項目を掲載しています。

うるま市の更なる飛躍を目指し、市民が夢と希望を持てるまちの実現に向け、引き続き取り組んでいきます。